

プログラム開発から実践まで、環境教育指導者研修 実施報告 1-1

<第1日目>環境教育指導者基礎研修その1

2006年11月30日(木) / 教育文化会館 501研修室

参加者：24人

ファシリテーター：定村 誠

《ねらい》

基礎研修1日目のねらいは、施設の役割を一旦離れて環境問題を広く捉え、そこから改めて施設の役割に立ち戻り、それぞれの施設で見学者などに伝えられる環境問題に関する内容を新たに発掘することでした。そのために、いろいろな施設の人が混ざったグループを作ることで、違う視点からの意見も交換できるようにしました。また、1日の流れ全体は、参加者の気づきから学び、そして行動へとつなげていく、環境教育の手法を用いた進め方で構成しました。

《研修のあらまし》

参加者は円になって着席。

<環境政策課長あいさつ>

<自己紹介>

一人ずつ、所属と名前、自分の所属する組織での環境教育プログラムの実際、研修に期待することを1分程度で話す。

<それぞれの施設の役割>

ワークシートに、「現在、どのようなプログラムを行っているか」を書く。何人かに紹介してもらう。

<4つのコーナー>

以下の各テーマで、それぞれ自分の行動や考えに基づいて Yes から No まで4段階に分かれ、話し合った。

- 1.日頃、環境に配慮して生活している。
- 2.環境教育についてよく知っている。
- 3.環境問題は、待ったなしの問題だ。

<グルーピング>

輪になって、順に4までの番号を言い、グループを作る。

(4グループ)

<ブレインストーミング>

「環境問題」に関連して思うことを書き出す。ポストイッ

